

③ 復興支援インターン取組発表

復興支援インターン 取組発表

大学生が被災地企業での職業体験を通じて、経験や学んだことを全国に発信し、風化・風評被害の防止と被災地産業の復興を目的とする「復興支援インターン」を契機に新商品の開発につながった取組を発表いただきました。石巻市の株式会社ヤマトミにインターンを行った学生が、石巻の真穴子を使用した介護食メニューを開発し、それをメーカーである森永乳業グループに提案し、商品化された先進的な事例でした。

登壇者の皆様



神村 美帆氏
(名古屋学芸大学
管理栄養学部
管理栄養学科3年)



河野 呼春氏
(名古屋学芸大学
管理栄養学部
管理栄養学科3年)



武田 安弘氏
(森永乳業株式会社
研究本部 健康栄養科学
研究所長)



千葉 雅俊氏
(株式会社ヤマトミ
代表取締役)



千葉 尚之氏
(株式会社ヤマトミ
常務取締役)

登壇者は神村 美帆氏・河野 呼春氏（いずれも名古屋学芸大学 管理栄養学部 管理栄養学科）、武田 安弘氏（森永乳業株式会社 研究本部 健康栄養科学研究所長）、千葉 雅俊氏（株式会社ヤマトミ 代表取締役）、千葉 尚之氏（株式会社ヤマトミ 常務取締役）で、被災地での活動を契機に産学官共同のプロジェクトが生まれ、被災地産業の復興につながった取組を発表いただきました。会場では開発された商品（「穴子の玉子とじ丼」）の試食も行われました。

神村氏と河野氏からはヤマトミにお世話になる経緯から話が始まりました。「東北の現状を知ること」「生の声を聞く」ことが、インターンに参画した理由でしたが、実際に被災地を目にすると「頭が真っ白」になったとのこと。今回の食品開発の流れを経験して、「東北の食材を食べることが復興につながる」と実感した思い、そしてインターン先のヤマトミとの縁が高じて、介護食の商品化につながったことがとても幸せであるとのコメントがありました。

インターン期間中の両氏の活動は精力的で、僅か一週間のうちに新しい食品のアイデアを幾つも提供し、これには千葉社長も感嘆の声をあげたとのこと。彼女達が考案した「穴子の玉子とじ丼」の情報が森永乳業に伝わって商品化に至る動きはまさに縁があつての出会いを感じさせるものでした。森永乳業では、ヤマトミが扱う良質の穴子の味を損なうことなく、玉子の柔らかさを保つことに気を遣いながら製品化に注力したとのこと。本年3月から店頭と並ぶこととなります。

会場の様子



～ご協力・ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました～

お問い合わせ

※当交流会の事務局運営については、株式会社JTBコーポレートセールスが受託しております。

新しい東北

検索



「新しい東北」交流会事務局（株式会社JTBコーポレートセールス 東京中央支店内） 担当 西田、安海（あずみ）

E-mail: nt-info@bwt.jtb.jp

TEL: 03-6737-9292（平日9:30～17:30）※土曜、日曜、祝日 は休業となります。

WEBサイト: <http://www.newtohoku.org/>

Facebook: <https://www.facebook.com/newtohoku>